



名古屋駅周辺まちづくりの現在の状況

令和2年3月



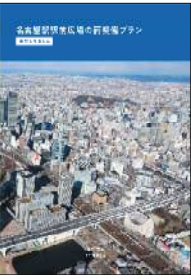
名古屋市



目 次

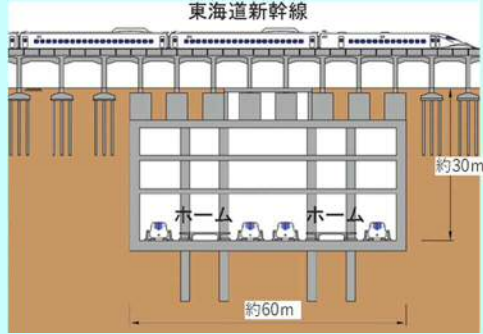
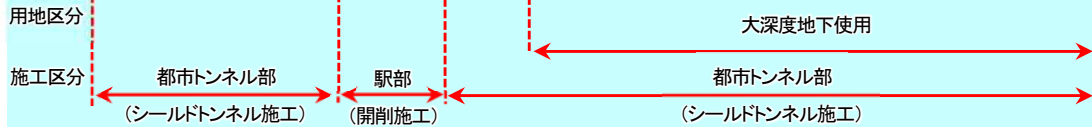
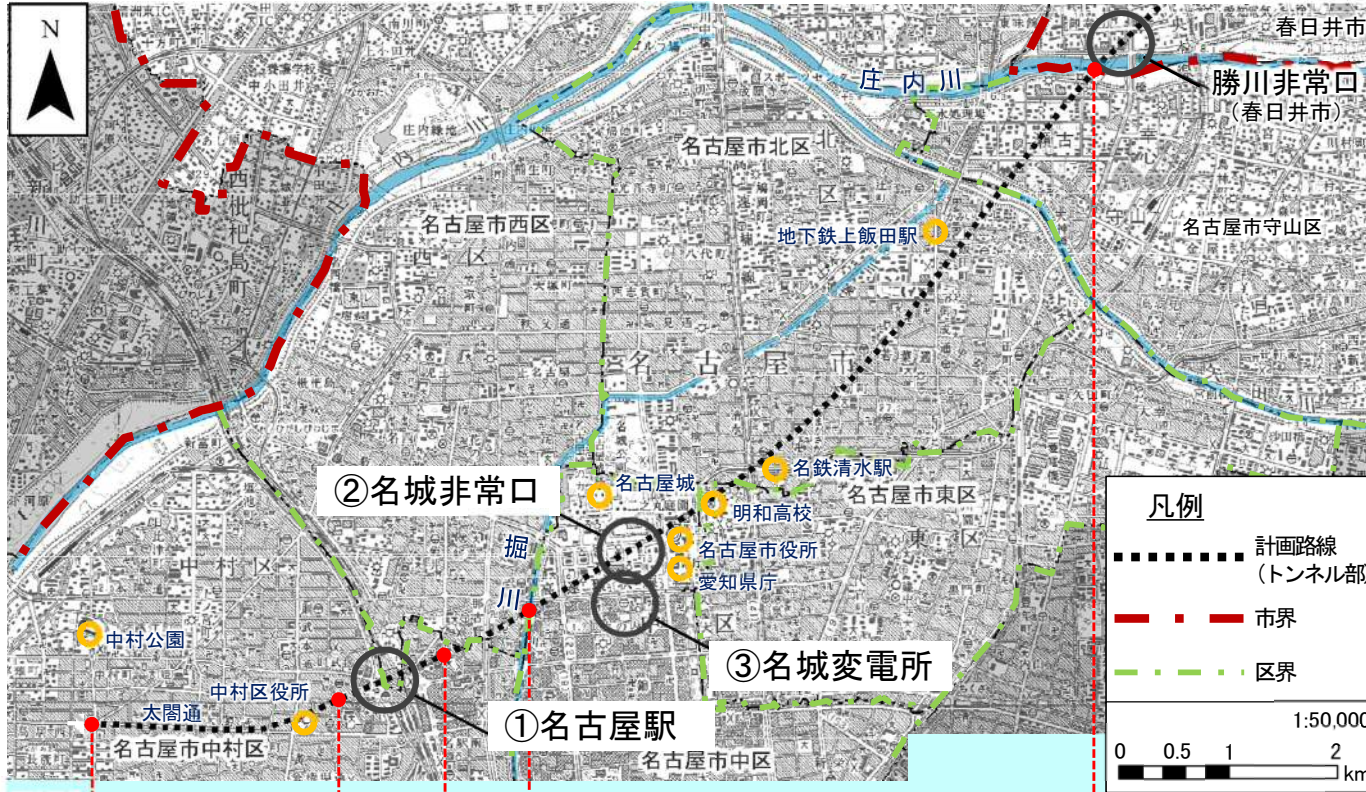
1. これまでの経緯	2
2. リニア中央新幹線に関する動き	3
3. 名古屋駅周辺まちづくりに関する動き	5
(1) 名古屋駅駅前広場周辺の再整備等	6
(2) リニア駅周辺の面的整備	15
(3) ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進	17
(4) 名古屋駅とのアクセス性の向上（高速道路）	18
4. 関連プロジェクト	20
(1) 地区毎の特色を活かしたまちづくり	21
(2) 名古屋駅周辺の防災性の向上	23
(3) 新たな路面公共交通システム（S R T）の考え方	24
(4) 都市機能の強化	25
5. 名古屋市における予算（令和2年度）	28

1. これまでの経緯

	リニア中央新幹線	名古屋駅周辺まちづくり
平成26 29年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 工事実施計画（その1）認可（H26.10月） ● 用地協定締結（H27.1月） ● 名城非常口工事着工（H28.6月） ● 名古屋駅（駅中央部）工事着工（H28.12月） ● 工事実施計画（その2）認可（H30.3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>名古屋駅周辺まちづくり構想策定（H26.9月）</u> 世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す ・ 誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる ・ 都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく ・ リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する  ● <u>名古屋駅周辺交通基盤整備方針策定（H30.3月）</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅へのアクセス性の向上、多様な交通モードの結節機能強化の実現 ・ ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成の実現 「わかりやすさ」「心強さ」「名古屋らしさ」 
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 大深度地下使用認可（H30.10月） ● 名城変電所工事着工（H30.12月） 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>リニア駅周辺のまちづくりの方向性（中間とりまとめ）</u> ● <u>名古屋駅駅前広場の再整備プラン（中間とりまとめ）策定（H31.1月）</u> 
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ● 名古屋駅（東山線部）準備工事着工（R1.5月） 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>名古屋駅東側の駅前広場等の都市計画変更（R2.3月）</u> ● <u>名古屋高速道路の黄金出入口及び新洲崎JCT出入口等の都市計画変更（R2.3月）</u>

2. リニア中央新幹線に関する動き

■名古屋市内におけるリニア中央新幹線建設の状況



用地取得の状況

- 駅部
…用地取得を実施中
今後、取得済用地で工事に着手予定
- 都市トンネル部
…区分地上権設定を実施中
(大深度地下使用区間等除く)



名古屋駅西側の状況(令和2年2月)



名古屋駅東側の状況(令和2年2月)

出典：JR東海 環境影響評価書(愛知県)のあらまし(平成26年8月)

■工事の状況

①名古屋駅

○概要

リニア中央新幹線名古屋駅の建設

○工事状況

- ・新幹線部：新幹線高架下の地中連続壁工事が完了し、現在、新幹線西側で地中連続壁工事の着手に向けた準備工事を実施中
- ・在来線部：線路を受け替える工事桁架設を実施中
- ・名古屋駅東側（地下鉄東山線交差部）：準備工事に着手
- ・名古屋駅西側：工事契約を締結し、工事着手に向けて準備中



【新幹線部】準備工事（支障物件移転）（令和元年12月）



【在来線部】工事桁架設工
（令和元年12月）



【駅東側】準備工事（支障物件移転）
（令和元年12月）

②名城非常口

○概要

- ・名城東小公園跡地における非常口の建設
- ・名古屋駅及び勝川非常口へのトンネルの敷設

○工事状況

- ・非常口掘削工事を実施中
- ・シールドトンネル工事契約済（令和元年7月）



非常口掘削工（令和2年2月）

③名城変電所

○概要

- ・愛知県産業貿易館本館跡地における変電所の建設
- ・名城非常口への電気洞道の敷設

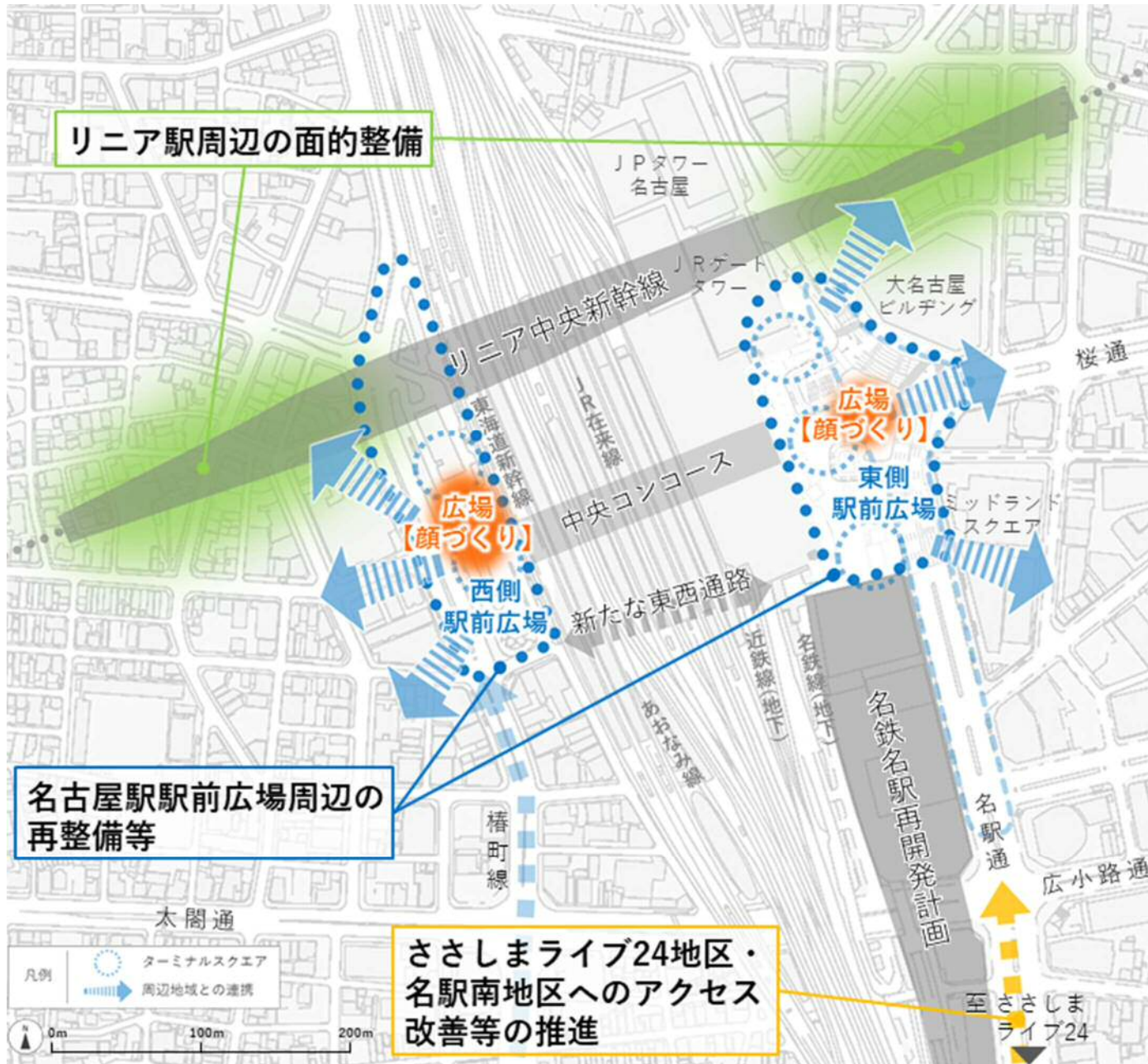
○工事状況

- ・既存建物解体、地下掘削工事を実施中



掘削工（令和2年2月）

3. 名古屋駅周辺まちづくりに関する動き



■ 名古屋駅駅前広場周辺の再整備等

P.6~14

● 東側駅前広場

- ・都市計画変更手続き完了(3月10日告示)

● 西側駅前広場

- ・開業時に平面レベルでの機能確保、開業後のできる限り早期に重層的な拠点の形成

● 顔づくり

- ・「This is NAGOYA」を感じる象徴的な空間形成

■ リニア駅周辺の面的整備

P.15~16

- ・まちづくりを地域や関係者と連携・協力し推進

■ ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進

P.17

- ・アクセス改善と賑わい創出を一体的に検討中

■ 名古屋駅とのアクセス性の向上（高速道路）

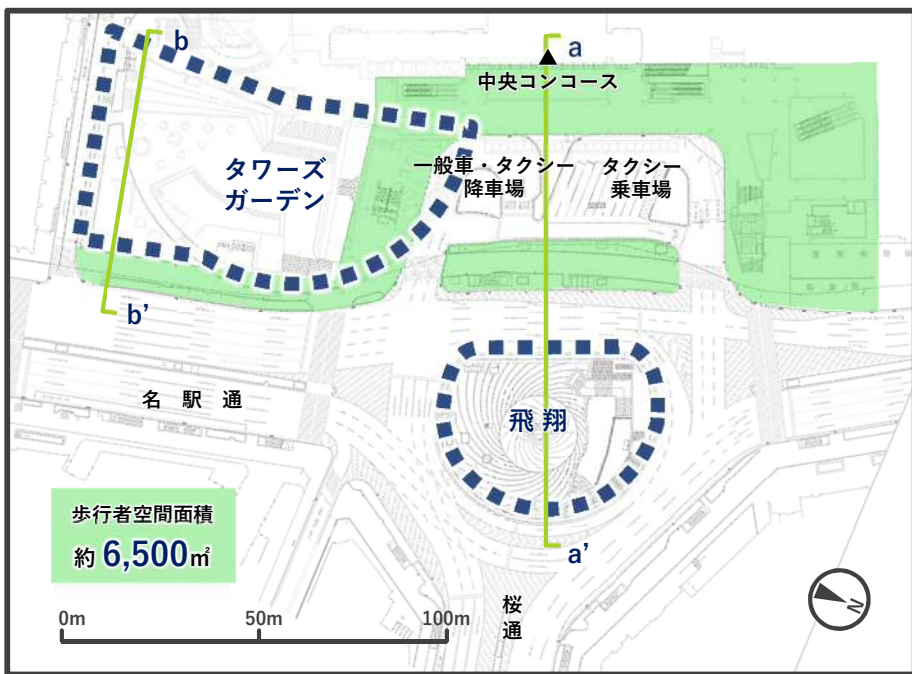
P.18

- ・都市計画変更手続き完了(3月10日告示)

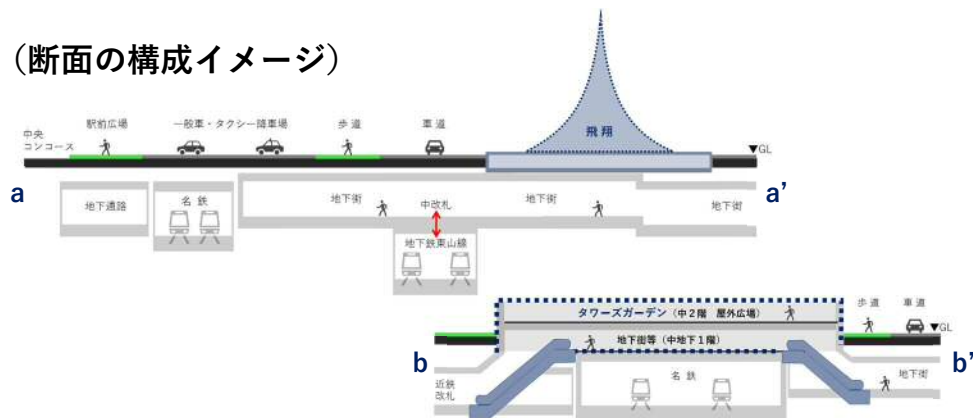
● 東側駅前広場について

■ 駅前広場の整備内容

【整備前】



(断面の構成イメージ)



■ 事業費

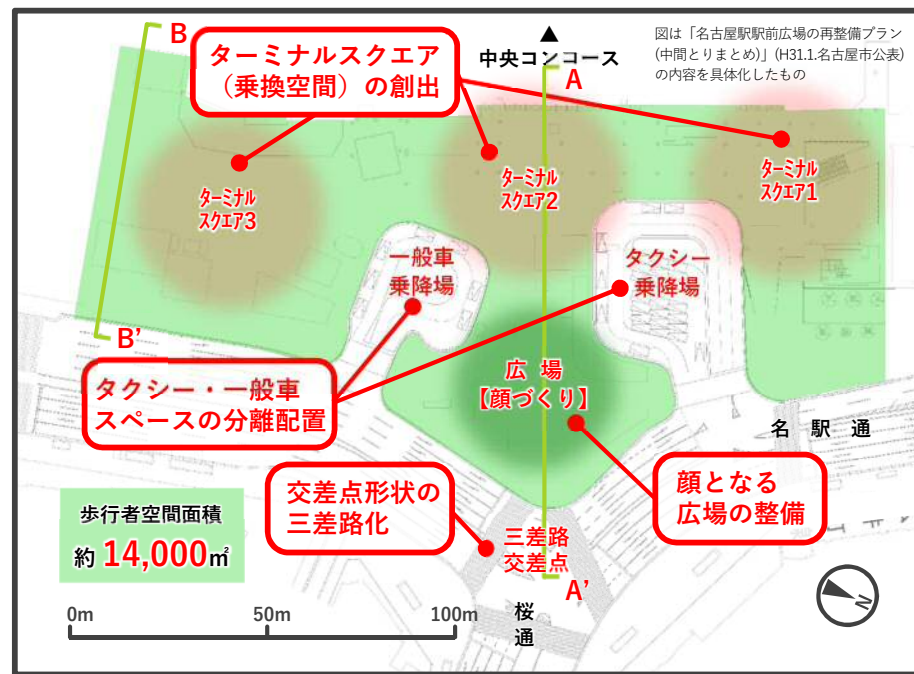
・現時点の検討としては、約700億円を想定

整備内容

- ・ターミナルスクエア(乗換空間)の創出
- ・顔となる広場の整備
- ・地下広場等の整備
- ・交差点形状の三差路化
- ・タクシー・一般車スペースの分離配置

・構造的な検証や施工ステップの検討等を行い、今後事業費の精査が必要

【リニア中央新幹線開業時に目指す姿】



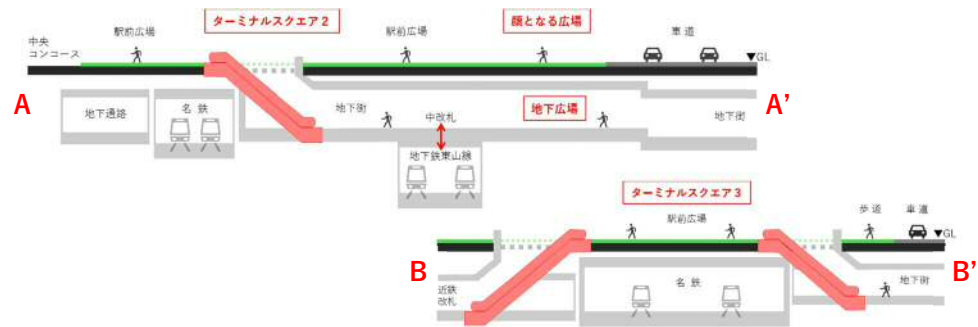
図は「名古屋駅前広場の再整備プラン(中間とりまとめ)」(H31.1.名古屋公表)の内容を具体化したもの

※ 道路の詳細構造、施設の配置や規模等については、関係者との調整により今後変更することがある。

※ 「新たな路面公共交通システム(SRT)」と整合を図る。

※ ターミナルスクエア3については名鉄名駅再開計画との整合等が必要。

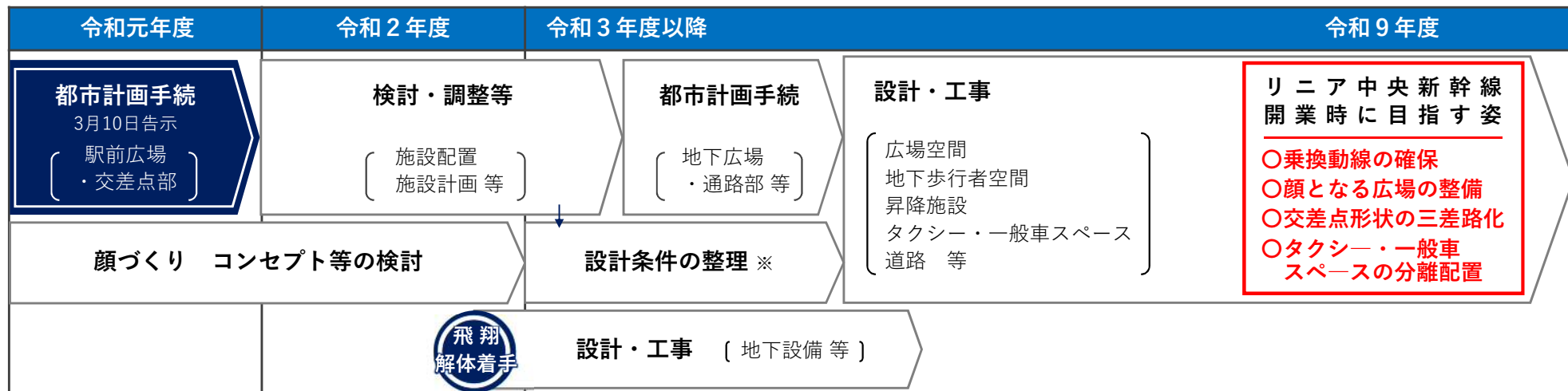
(断面の構成イメージ)



■ 今後の進め方等

■ 整備に向けた進め方

- ・地下街等の施設との整合などの検討を行い、地下広場・昇降施設等の配置を固め、必要な都市計画手続きを進める。
- ・飛翔解体から始まる一連の工事に順次着手し、リニア中央新幹線開業時には施設整備を完了させる。

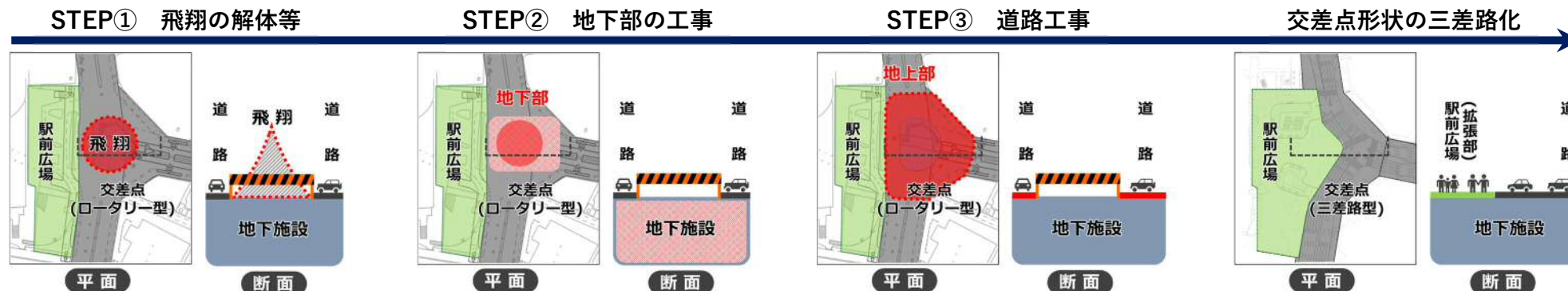


※ 設計に反映するため、顔づくりのコンセプト等にあわせ、施設配置や荷重条件等を整理。

■ 都市計画審議会（R2.2.10開催）における主な意見

- ・一般車スペースについて、乗車機能の追加及び出入口部での横断により名駅通等での渋滞が懸念される。しかし、利便性のためには乗降できることが望ましい。今後、処理方法等を検討し、限られたスペースで交通処理できるようにしてほしい。
- ・一般車スペースは、北方面からの出入りができない形となっており、より良いアクセス方法を検討してほしい。
- ・他の様々な計画や関係者との検討・調整を踏まえ、手戻りがないように進めてほしい。また、防災面の観点を含めて検討を進めてほしい。

■ 交差点部の施工手順イメージ



飛翔の解体及び関連施設の撤去

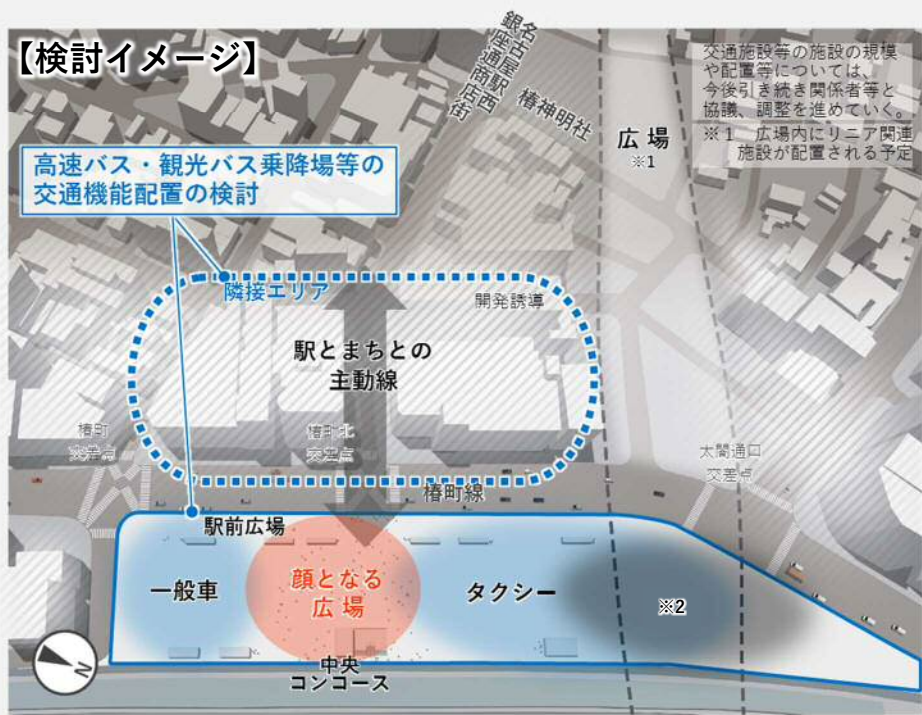
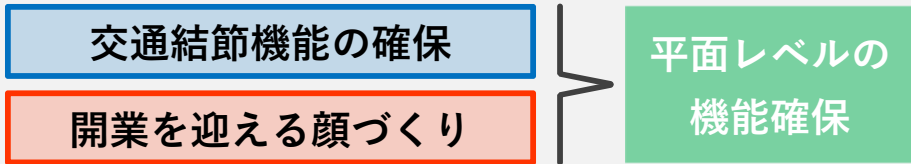
ポンプ所等の設備や地下広場等の地下施設の整備

道路線形の変更

三差路交差点の供用開始

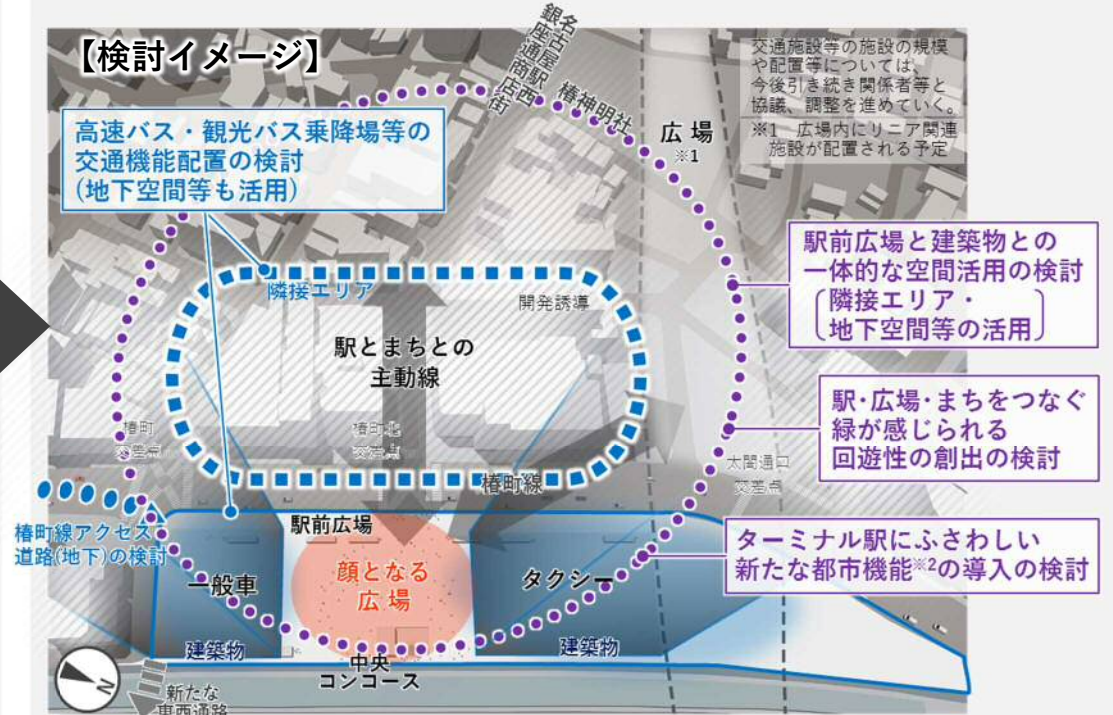
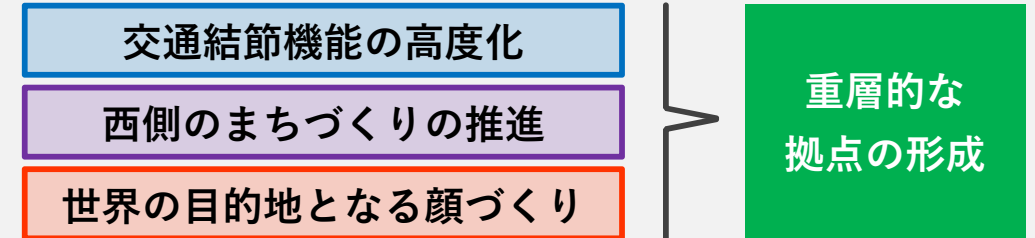
● 西側駅前広場について

■ リニア中央新幹線開業時の姿（検討の方向性）



備考1 既存の地下街及び地下駐車場は現状の利用を基本とする。
備考2 「新たな路面公共交通システム(S R T)」と整合を図る。
備考3 駅前広場内に、自転車駐車場等を配置することを検討する。
(注) リニア中央新幹線名古屋駅新設工事に伴う復旧工事等の状況により、リニア中央新幹線開業時には、※2付近に駅前広場機能の確保が困難となることが想定される。

■ 西側エリアの目指す姿（検討の方向性）

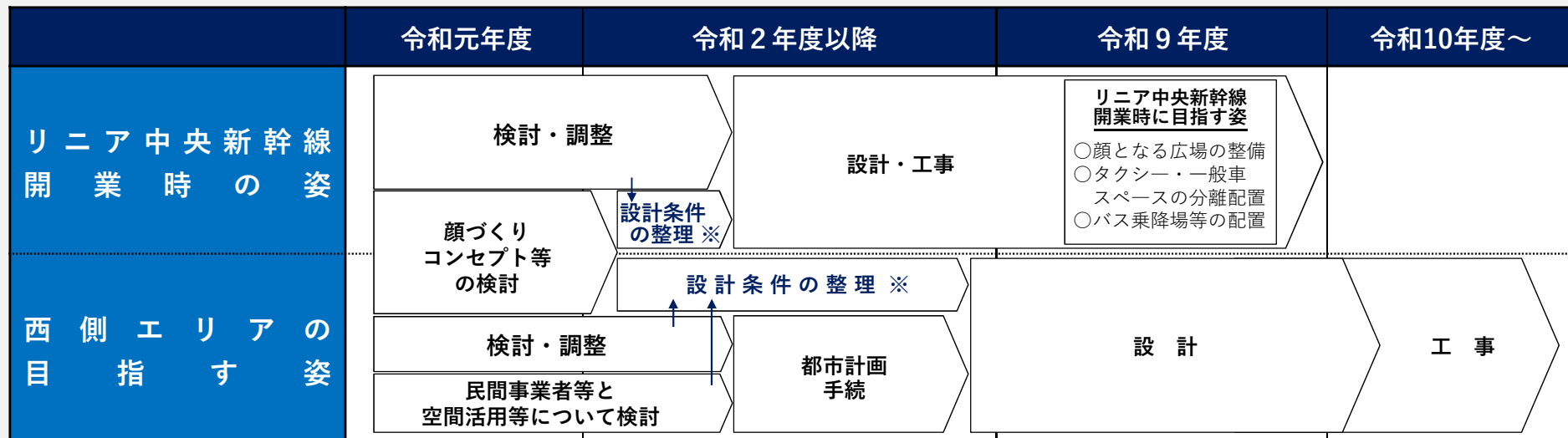


※2 総合案内（観光案内所・交通案内所等）、文化発信（コンサートホール・美術館等）、産業・ビジネス交流（MICE施設・ハイグレードホテル等）、オフィス等を想定
備考1 「新たな路面公共交通システム(S R T)」と整合を図る。
備考2 駅前広場内に、昇降施設、自転車駐車場等を配置することを検討する。

■ 再整備の基本的な考え方

- ・ リニア中央新幹線開業時を目指して、早期にリニア効果が発現できるように、必要な交通結節機能の確保と空間形成を行う。そのために、当面、駅前広場は平面レベルの限られた空間の中で機能確保を行う。
- ・ リニア中央新幹線開業後のできる限り早期に、スーパー・メガリージョンの中心にふさわしい重層的な拠点の形成を目指して再整備を行う。そのために、関係者との調整を十分に進めるとともに民間事業者との連携を深め、施設配置や動線等について多様な視点による検討を行う。
- ・ 交通結節機能について、隣接エリアの活用も含めた検討を行う。

■ 今後の進め方



※設計に反映するため、顔づくりのコンセプト等にあわせ、施設配置等を整理

● 顔づくりについて

- ・ 駅から出て最初に目にする広場で「This is NAGOYA」を感じる象徴的な空間形成を図る。
- ・ 有識者や市民からこれまでいただいた意見をふまえ、広場で行われる様々な活動を中心に、検討中のイメージとして整理した「顔づくり検討イメージ図」を示す。引き続き、顔づくりのコンセプト等の検討を進める。



■ 有識者や市民からの意見聴取

アイデア募集

○トークイベント 名古屋駅前広場の再整備「名古屋の顔づくり」



R1. 5/27

○こどもワークショップ



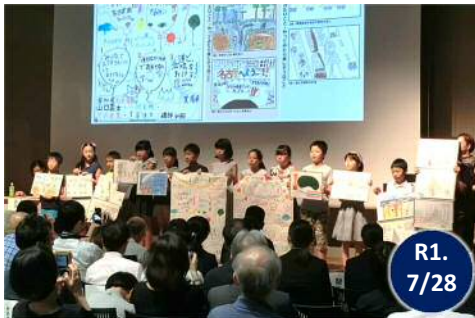
R1. 6/23

R1. 7/7

○「名古屋の顔づくり」アイデア募集・アンケート R1.5/13~6/28

アイデア発表

○名古屋駅前広場の再整備「名古屋の顔づくり」アイデア発表会



R1. 7/28

▲こどもワークショップ参加者による発表



R1. 7/28

▲アイデア募集の応募者による発表

まとめ

- 歴史・文化・地域特性等、**まちのアイデンティティ**を活かす
- 地域の祭りや過去から最新の**ものづくり文化**を発信する
- 来訪者と地域の人**が出会い・集い・交流**でき、アクティブな場となる空間とする
- 最先端技術**を活用して、**感動**を提供し、楽しい空間とする
- 日常**も名古屋らしさを感じる
- フォトジェニック**な写真の撮影スポットをつくる
- 日常の機能をベースに、仮設等により1年を通じた変化や非日常を演出する

■ コンセプトの考え方

日常・非日常いつでも

まちのアイデンティティ

東西共通

歴史・文化
・ものづくり文化
・武家文化

新たな顔

・ウォークアブルなまちづくり
・音楽を活かした魅力発信
・最先端技術を活用した空間づくり

東側

名古屋オリジン / 独自性
・城下町から高層ビル群まで**新旧織りなす地域**
・**桜通**(広幅員道路)の**景観**

西側

リニアフロンティア / 多様性
・リニアの**玄関口**
・**国際性**
・**若者文化** 等

人の活動

出会い

集い

交流

憩

感動

フォトジェニック

■ アイデア募集の概要

○ アイデア募集

実施期間 令和元年5月13日～6月28日
 応募数 31件（東側16件、西側7件、両側8件）
※募集要項の条件を満たさないアイデアを含む

アイデアの概要

「歴史」に関しては金シャチや三英傑等、「文化」に関しては山車や音楽等、「活動」に関しては祭りやスポーツ等による人のにぎわいが見える場、「最先端技術」に関しては映像やスマートモビリティを活用した案など、様々なアイデアが提出された。

○ アンケート

実施期間 令和元年
 5月13日～6月28日
 回答数 107件

Q 「This is NAGOYA」を語る上で重視する視点を「歴史」「文化」「自然環境」「最先端技術」「その他」の中から一つ選択 他

○ こどもワークショップ

開催日 令和元年6月23日、7月7日
 参加者数 15名
 アイデアの概要

- ・小川のある広場
- ・アニメの舞台としたい
- ・名古屋飯を食べたい「名古屋飯ミュージアム」
- ・みんなでまちをきれいにしておもてなし



【歴史】15件



- 金シャチ
- 三英傑
- 名古屋城

アンケート11%



【文化】17件

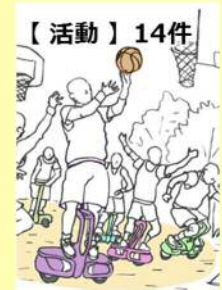


- 山車
- 音楽
- 飛翔
- 木曾ヒノキ
- 地下街

アンケート18%



【活動】14件



- 祭り
- スポーツ
- にぎわい
- 体験
- 感動
- 出会い



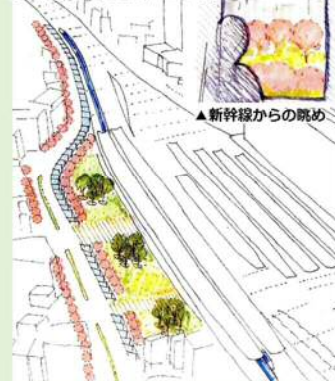
【最先端技術】6件



- 映像
- スマートモビリティ

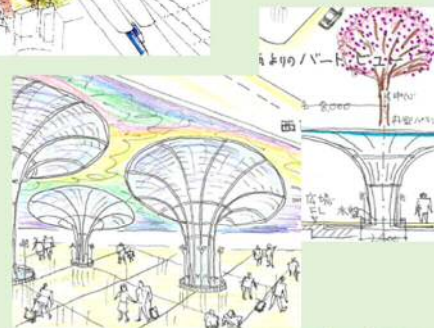
アンケート31%

【自然環境】12件



▲新幹線からの眺め

- 緑
- 季節感
- 桜
- 太陽光



アンケート18%

【交通】8件



- スマートモビリティ
- 交通ターミナル

※複数のテーマにまたがるアイデアがございます

■ 顔づくり検討イメージ図

※イメージであり、内容を確定するものではありません。

【コンセプトの考え方】

まちのアイデンティティ

日常・非日常いつでも

人の活動

東西共通

- 歴史・文化
- ものづくり文化
- 武家文化

新たな顔

- ウォークアブルなまちづくり
- 音楽を活かした魅力発信
- 最先端技術を活用した空間づくり

東側

- 名古屋オリジン / 独自性
- 城下町から高層ビル群まで新旧織りなす地域
- 桜通（広幅員道路）の景観

西側

- リニアフロンティア / 多様性
- リニアの玄関口
- 国際性
- 若者文化

等

× 出会い / 集い / 交流 / 憩 / 感動 / フォトジェニック

いつでも、
まちのアイデンティティを感じられ、
感動、体験、出会い、様々な人の活動が
くりひろげられる空間

【東側】 名古屋オリジン / 独自性



新しい駅前
桜通がよく見える！

ウォークアブル × 集い
桜通の景観 × 憩



最先端技術で実現する「武将都市ナゴヤ」
臨場感あふれる光景が広がる

- 名古屋にゆかりのある武将
- 織田信長
 - 豊臣秀吉
 - 徳川家康 等

武家文化 × フォトジェニック
最先端技術



高層ビルを背景に山車が勢揃い
まちの誇りに出会う

山車文化

名古屋駅近くにはからくり人形がのる3輛の山車(だし)が残る
愛知の山車まつりはユネスコ無形文化遺産に登録

新旧織りなす地域 × 出会い
ものづくり文化 × 交流



有松・鳴海絞のファッションショー
名古屋の高い技術に目が離せない

有松・鳴海絞

江戸時代から継承される絞りは、伝統の技を受け継ぐ工芸品から現代の感性をとり入れたファッションまで多彩な形で今に息づく

ものづくり文化 × 感動

【西側】 リニアフロンティア / 多様性



名古屋に到着
世界中から人が集結!

ウォーカブル × 集い
リニアの玄関口 × 憩

※新幹線の車窓より



プロジェクションマッピングで
「デザイン都市なごや」の夜を演出

ユネスコ・デザイン都市
なごや

ユネスコの「創造都市ネット
ワーク(デザイン分野)」へ加
盟(平成20年)



※新幹線の車窓より

最先端技術 × フォトジェニック



多種多様な文化を迎え入れる
今日はコスプレイヤー集まれ

コスプレホストタウン

世界コスプレサミットを平成
15年から毎年開催
コスプレホストタウン宣言
(平成29年)

国際性 × 出会い
若者文化 × 交流



最先端技術で実現!
世界的アーティストによる
エンターテインメント空間

7000万人の都市圏の中心

スーパーメガリージョンの中
心地にふさわしい国際的なイ
ベントの誘致

音楽
国際性 × 感動
最先端技術

■ 今後の進め方

引き続き有識者や市民等から意見をいただき、コンセプト等を固め、東・西側の広場の整備に反映する。

3-(2) リニア駅周辺の面的整備

■目的

リニア駅上部空間及び周辺街区のまちづくりを進めるため、目標とするまちの姿や、取り組みについて、今後の方向性を示すもの

■目標とするまちの姿

人々が集い、憩い、交流する広場が中心にあるまち

■将来のまちのイメージ

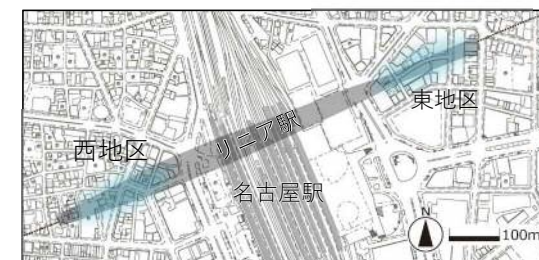


※リニア駅周辺のまちづくりの方向性（中間とりまとめ）2019年1月策定

■今年度の主な取り組み状況

<西地区>

- ・道路の位置・幅員について「リニア駅周辺のまちづくりの方向性」にて公表し、関係機関と協議中
- ・名古屋駅西地区まちづくり推進会議（エキニシタウン会議）を設置・開催し、まちの将来像等について検討中




※リニア駅周辺のまちづくりの方向性（中間とりまとめ）2019年1月策定

<東地区>

- ・道路の廃道や付替え道路の整備による街区の再編を検討
- ・広場と地下鉄駅との接続について検討
- ・新明小学校跡地（西側敷地）をリニア事業の代替地として活用、売却収入はリニア基金へ積み立て

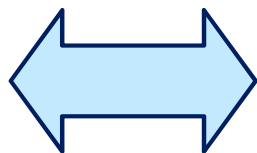
■進め方

	平成30年度	令和元年度以降
広場・ 道路(区画街路)	まちづくりの方向性(中間とりまとめ)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">関係機関 協議</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">都市計画 決定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">・広場計画 ・管理と 運営方法</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">設計・ 整備</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">公共施設の 配置</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;">地域、市民の方と 議論・検討</div> </div>
周辺 まちづくり		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">広場を中心としたまちづくりの検討</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; margin-bottom: 10px;"> 地域の方と議論しながら具体化・決定 ⇒西地区はエキニシタウン会議において議論を継続 《会議の様子》 </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> (東地区) 市有地(新明小学校跡地)の活用 代替地として譲渡(西側) → 地域との合意形成 → 地権者による開発 </div>

リニア中央新幹線開業



名駅地区



ささしまライブ24地区



名駅南地区

名駅地区からささしま地区・名駅南地区へのアクセス改善と賑わい創出を一体的に取り組む

■現状

- ・ ささしま地区の再開発により、名駅通の歩行者量が増加
- ・ ささしま地区は鉄道に囲まれ、出入口が限定されているため、歩行者も自転車も名駅通に集中

■課題

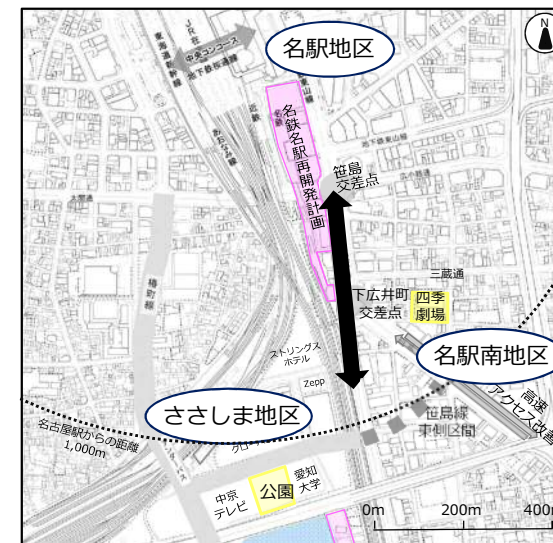
- ・ 交差点のボトルネックの解消
- ・ 歩行者と自転車との錯綜
- ・ 名駅南地区の民間開発の誘導促進



ボトルネック交差点
(笹島、下広井町交差点)



歩行者と自転車の錯綜
(名駅通西側歩道)



■今後の進め方

	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降	令和9年度
名古屋駅周辺 地下公共空間整備	整備内容検討	基本設計・都市計画等	事業化・地下埋設物支障移設・工事等	
アクセス改善・ 賑わい創出	実現可能性検討・関係機関協議・具体化			

3-(4) 名古屋駅とのアクセス性の向上 (高速道路)

■ アクセス向上の考え方



(名古屋駅周辺交通基盤整備方針の図面に南渡り線を追加したもの)
 ※南渡り線については、栄出入口・西渡り線とあわせて、都市計画手続き等を進める。

■ 都市計画審議会

(黄金出入口・新洲崎JCT出入口)

開催日時・場所

令和2年2月10日 名古屋市公館

傍聴者数

16名

委員からの主な意見

- ・ 移転対象の方々から意見をいただいている。しっかりと話し合いを重ね、できる限り多くの方に納得していただいたうえで、進めてほしい。
- ・ 駅前広場の計画を含め、計画の整合性について、道路ネットワーク全体を意識して進めてほしい。

■ 今後の進め方等

- ・ 黄金出入口及び新洲崎JCT出入口について、今後事業化に向けた手続きを実施予定。
- ・ 栄出入口・西渡り線・南渡り線については、関係者協議を継続中。今後都市計画手続きを実施予定。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度以降	令和9年度
黄金出入口・ 新洲崎JCT出入口	都市計画手続 令和2年3月10日告示	事業化手続	用地補償・設計・工事		
栄出入口・西渡り線・ 南渡り線	関係者協議	都市計画手続	事業化手続	設計・工事	

4. 関連プロジェクト

「名古屋駅周辺まちづくり構想」の基本方針に基づき、関連プロジェクトを展開

■まちづくりの基本方針

【基本方針1】

国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する
- (2) 玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる顔づくりを進める
- (3) ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい安全性を確保するとともに、環境負荷の少ないまちを形成する

ビジネス拠点・交流拠点の形成

(P. 25~26) 都心部容積率緩和

容積率の緩和をインセンティブに、民間投資の促進を図り、都市機能の導入を促進

(P. 27) 新たなビジネス拠点

圏域内外からイノベーション人材の集積を図り、産業革新・創造拠点へと発展させ、世界をリードする地域へ

安全性の確保

(P. 23) 帰宅困難者対策 浸水対策

災害リスクへの対応のため、各種対策を実施し、名古屋駅周辺の強靭化を図る

【基本方針2】

誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する
- (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する

3. 名古屋駅周辺まちづくりに関する動き (P. 5~P. 18)

【基本方針3】

都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく

- (1) 城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす
- (2) 人が主役の歩いて楽しい空間を形成し、回遊性を高める

多彩な魅力を創出

(P. 21~22) 地区毎の特色を活かしたまちづくり

官民協働で地域のまちづくりを促進し、地域独自の個性を活かす

回遊性の向上

(P. 24) SRTの概要

都心部の魅力ある地域をつないで回遊性を高め、賑わいの面的拡大を創出

【基本方針4】

リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- (1) まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する

名古屋駅周辺まちづくり推進懇談会 など

4-(1) 地区毎の特色を活かしたまちづくり

地域資源を活かしたまちづくりの推進等により、都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく

■地元まちづくり団体等の取組み状況

名古屋駅地区街づくり協議会

- ・「名古屋駅駅前広場の再整備
”名古屋の顔づくり”」アイデア提案
- ・公開空地を活用した賑わい創出
イベントの実施

名古屋駅太閤通口まちづくり協議会

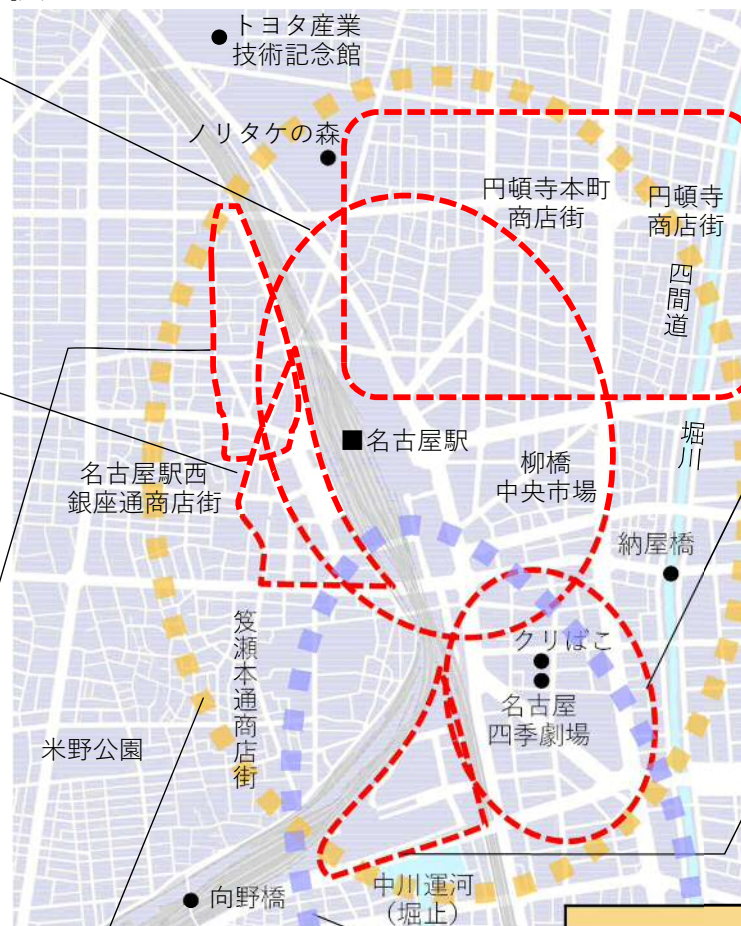
- ・駅前広場及び西地区のまちづくり
に関する検討
- ・椿フェスタにおけるイベント時
の動線形成に関する取組み

名古屋新幹線駅前商工連合会

- ・街路灯・防犯カメラの維持管理
- ・「名古屋駅駅前広場の再整備
”名古屋の顔づくり”」アイデア提案

まっとナゴヤプロジェクト会議

- ・官民連携で名古屋駅周辺の回遊性向上策を検討
- ・会議での議論をとりまとめた「名古屋駅周辺のまちづくりの羅針盤」を公表・柳橋地区の再生の位置付け



四間道・那古野界隈まちづくり協議会

- ・四間道・那古野界隈まちづくり構
想の具体化検討（まちづくり勉強
会の実施等）

名駅南地区まちづくり協議会

- ・地区内の魅力資源の掘り起こし・
情報発信
- ・まちづくりガイドライン（素案）
の作成

ささしまライブ24まちづくり協議会 (R2年度より一般社団法人として活動)

- ・名駅通りイルミネーションの実施
- ・各種イベントとの連携・実施
(エヴァンゲリオン中京圏プロジェ
クト、ぼうさいこくたい等)

メイエキサザン

- ・名駅の南エリアにおける地域資源や各種団体等の
活動をつなげ、エリア全体でのまちづくりを議論
- ・エリア全体のまちづくりを見据え、個々の活動の
ほか官民連携によるまちづくりを進める

■地区毎のまちづくり活動



駅西地区パトロール【6月】
(名古屋駅太閤通口まちづくり協議会)



MEIEKI Street Party (公開空地を活用した賑わい創出イベント)【7月】
(名古屋駅地区街づくり協議会)



円頓寺秋の祭り【11月】
(四間道・那古野界隈のまちづくり活動)



まちを照らす街路灯【2月】
(名古屋新幹線駅前商工連合会)



ハンギングバスケット設置【6月】
(名駅南地区まちづくり協議会)



SASASHIMA XMAS LIGHTS 2019【12月】
(ささしまライブ24まちづくり協議会)



「名古屋駅周辺のまちづくりの羅針盤」報告・意見交換会【2月】
(まっとナゴヤプロジェクト会議)



「メイエキサザンナイト」の開催【1月】
(メイエキサザン)

4-(2) 名古屋駅周辺の防災性の向上

■帰宅困難者対策

- ・大規模な地震が発生した場合における滞在者等の安全の確保を図るために必要な施設の整備等に関する計画として、官民連携の協議会において名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画を作成
- ・今後も退避施設等の拡充協議を事業者等と継続実施

協議会に49事業者が参加

事業者の参加数は全国一！！



- ・今年度は、10月に「ぼうさいこくたい2019」を開催

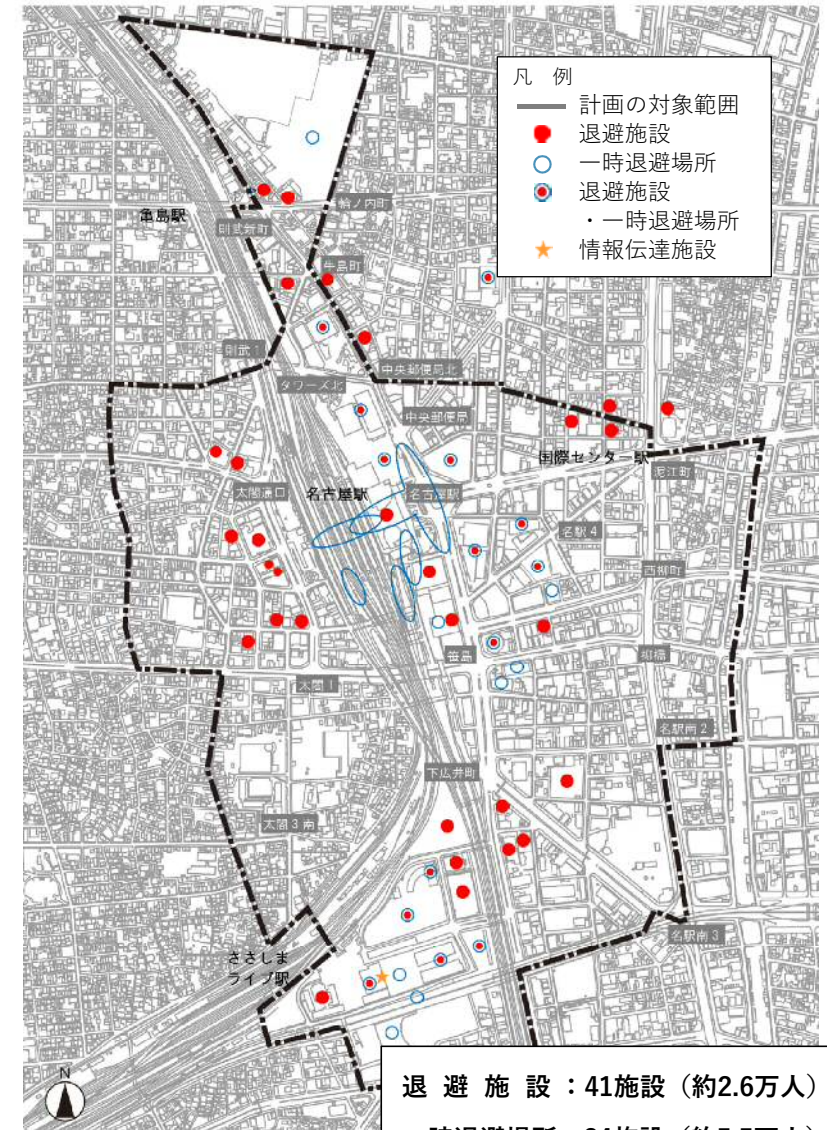


■浸水対策

- ・名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域の浸水対策を最優先で進める事業として位置付け、集中的に整備を実施 【H26～R6(予定)】
- ・堀川の五条橋地区における河川整備を、平成30年1月に国土交通省「100mm/h安心プラン」に登録し、平成30年度整備に着手

「100mm/h安心プラン」とは、ゲリラ豪雨等による浸水被害に対し、河川事業・下水道事業や避難行動の支援等、官民連携し、浸水被害の軽減を図るための取組みやプラン等の支援目的で、平成25年度に創設された制度。

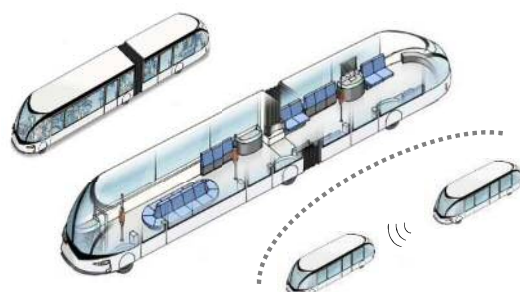
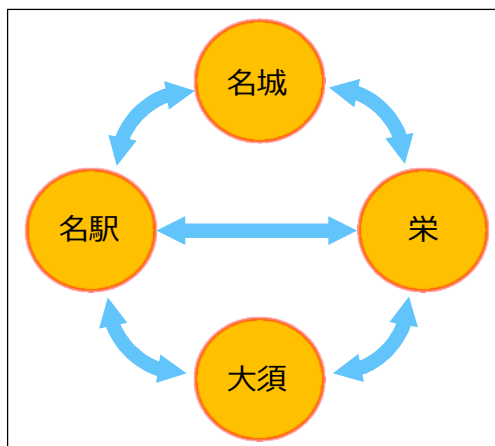
〔退避施設・一時避難場所・情報伝達施設の位置図〕



第3次名古屋駅周辺地区都市再生安全確保計画 (令和元年7月一部改正)

■ S R T (Smart Roadway Transit) の概要

- ・従来のL R TやB R Tの優れた点を取り入れて発展させた新しい都市のシステム
- ・道路空間の賑わいづくりと一体的に整備し、魅力あるまちをシームレスにつないでストレスフリーな移動を提供することで都心の回遊性を向上



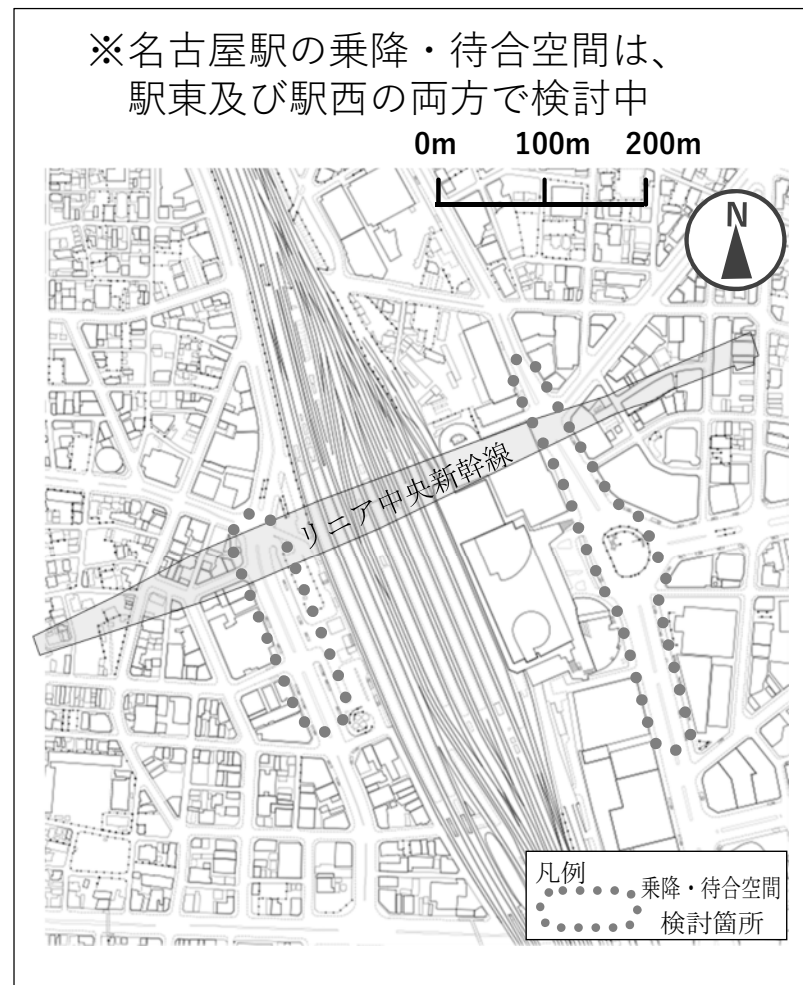
<車両のイメージ>



<走行空間のイメージ>



<乗降・待合空間のイメージ>



■ 導入の進め方

- ・2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、課題解決に必要な検証を行いながら段階的に導入を推進
- ・来年度を目途に、具体的な路線や運行内容などを示した事業計画を策定

都市計画制度等の活用による民間再開発等により、ビジネス拠点・交流拠点に必要な都市機能を強化

■ 取組み状況

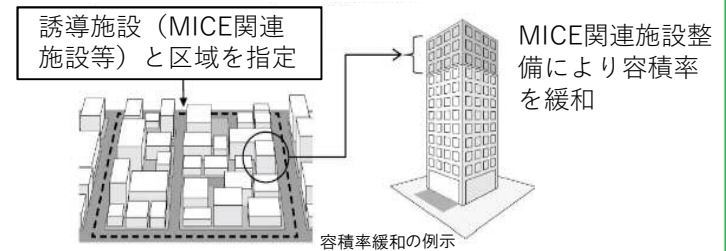
民間によるまちへの投資を促進するため、「民間投資促進包括プラン」を公表（平成30年3月）

「民間投資促進包括プラン」の概要 【H30.3】

対応方針	施策
容積率緩和による都市機能の誘導	個別開発に対する支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・都心における容積率緩和制度の運用方針の策定 ・都市計画提案に係る面積規模の緩和 など
	面的な容積率緩和制度の活用
	指定容積率の見直し
開発に係る規制見直し等	地下街接続基準の見直し
	駐車場附置義務制度の見直し
	環境影響評価の規模要件見直し
	<今後の予定> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の価値向上を図る取組み ・税制・金融支援 ・情報提供の充実

特定用途誘導地区(都心地区) 【H31.4】

- ・個別の都市計画手続きを経ずに容積率緩和
- ・都心に必要な機能（施設）の整備促進



指定容積率の見直し

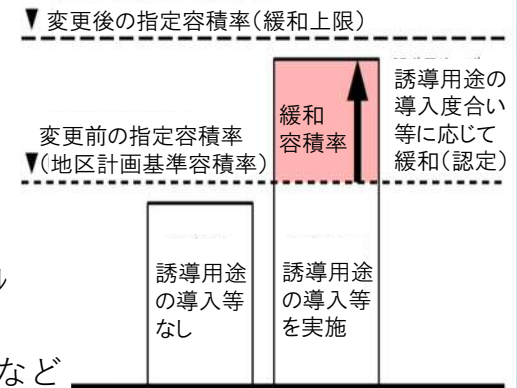
【R2 都市計画決定予定】

- 指定容積率見直し+地区計画により、土地の高度利用+都市機能の増進を図る
- 変更前の指定容積率を超えて建築する場合は、**誘導用途の導入や公共貢献**などに応じて容積率を緩和

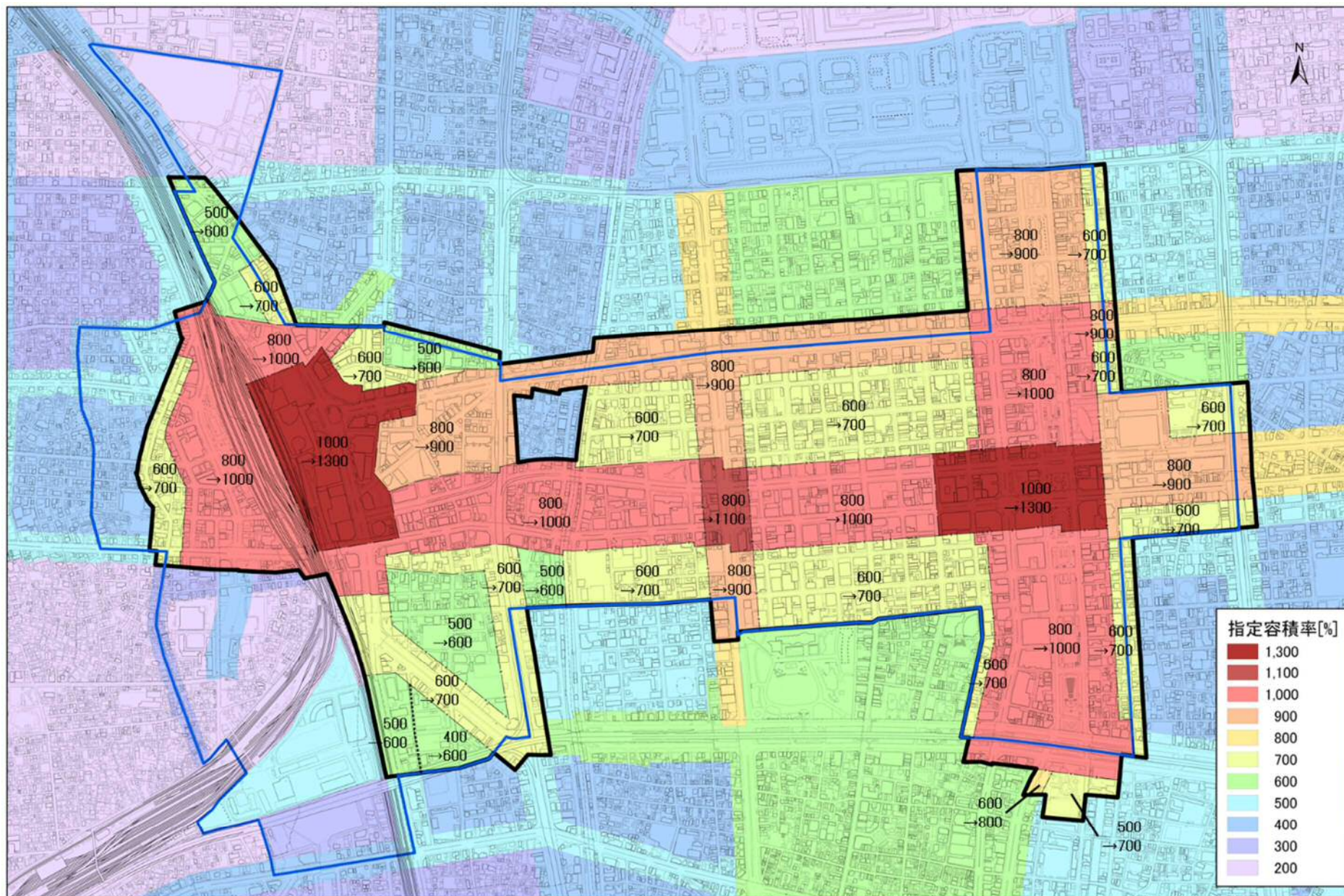
★ポイント

一定の要件を満たす開発であることを認定することで簡易かつ迅速に容積率を緩和

- 誘導する都市機能（例）
 - 誘導用途**：劇場、イノベーション施設、ハイグレードホテル、低層化店舗（1階）など
 - 公共貢献**：緑化率20%以上の確保、空地整備など



■対象区域



地区計画区域及び指定容積率変更区域
 都市再生緊急整備地域

1000 : 変更前の指定容積率
 →1300 : 変更後の指定容積率

0 0.1 0.2 0.4 0.6 0.8 1 km

■ビジネス拠点・交流拠点に必要な都市機能の強化

●なごのキャンパス (R1.10月開業)

～新たな交流・創造・発信の拠点～

名古屋駅至近の貴重な公有財産を、名古屋の魅力や個性を高める拠点として有効活用を図ることを目的に、旧那古野小学校の校舎及び敷地を現状有姿で民間事業者へ貸付を行う

▶ 事業者

東和不動産株式会社、名古屋商工会議所 他3団体が共同で運営

▶ 主な用途

オフィス、シェアオフィス、コワーキングスペース、会議室、イベントスペース、体育館、グラウンド、飲食店舗



◎活用例

・Aichi Open Innovation Accelerator ミートアップDay



・食×ビジネス・テクノロジーで「食の未来」を考える



◎ 都心部のインキュベーション施設等



●：インキュベーション施設・コワーキングスペース

※ R2.2 事務局作成

● NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE

(R1.7月開業)

中部経済連合会等との連携により、企業の新たな価値の創出を促進するイノベーション拠点を設置



5. 名古屋市における予算（令和2年度）

名古屋駅周辺の主な取り組み

- リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの推進・・・679,000千円
 - 1 名古屋駅ターミナル機能の強化・・・660,000千円
 - ・駅前広場の再整備等の検討・工事 [A]
 - ・東西ネットワークの強化の検討 [B]
 - 2 名古屋駅周辺まちづくりの推進・・・19,000千円
 - ・リニア駅周辺の面的整備の検討 [C]
- ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進
 - ・・・200,000千円
 - ・ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等
及び当該エリアの賑わい創出 [D]
- ささしまライブ24地区の整備・・・713,058千円
 - ・ささしまライブ24土地区画整理事業 [E]
 - ・笹島線（東側区間）街路事業 [F]
- 名古屋駅周辺の地域資源を活かしたまちづくりの検討・・・8,000千円
 - ・柳橋界限等の地元と協力した魅力向上策の実現検討 [G]
- 新たな路面公共交通システムの検討・・・15,000千円
 - ・新たな路面公共交通システムの事業化に係る検討
- 地下街耐震改修等助成・・・276,440千円の一部
 - ・地下街管理会社等に対し、耐震補強、天井改修等に要する費用の一部を助成

